

令和5年度
3月号

幼稚園だより



成長したこと

令和6年2月29日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

今年の2月は雪で一面が真っ白になった日もあれば、初夏の気候で半袖姿の人たちが街の中を歩いている日もありました。一足飛びに季節が変わっているようです。

2月に行われた発表会にはたくさんの保護者の方にご参観いただきありがとうございました。学年別での開催で、人数制限がなく会場に来ていただけたことはよかったと思います。子どもたちも頑張っている姿を見てもらい、満足感をもっていました。

明日から3月です。季節は一足飛びに変わってきますが、子どもたちは着実に一步一步成長してきました。先日、3人の子どもたちがネズミになっておうちごっこを楽しそうにしていました。少しすると2人（2匹？）のネズミが怖い顔をしてにらみ合っています。どうも何かがきっかけでけんかをしているようです。しばらくの間にらみ合っていたましたが、ふと1人（1匹？）のネズミが何か言うと、他の2人（2匹？）は笑顔になって、また一緒に遊び始めました。その様子を遠巻きに見ていた私はけんかのきっかけも仲直りの言葉もよく分かりませんでした。分かったことはこのネズミたちにとっては一緒に楽しく遊ぶことを続けるにはどうすればいいのか？を瞬時に考え、行動し、それを受け止める力があったということです。人との関わりには正解はありません。ある論説に上智大学的那須正裕教授は“正解ではなく納得解や最適解をその都度求め続けていく学びが今後子どもたちの手で豊かに展開されることが期待されます”と書かれています¹。まさしく、ネズミになっていたこの3人は納得解であり最適解を考えながら、遊びを進めていたと考えられます。

幼稚園は教科書がありません。生活の中で環境を通した教育となります。環境への関わり方は人それぞれですので、学んでいることも一人一人違います。誕生会で5歳児の保護者の方に行っている質問がありますが、今月はすべての保護者の方に「この一年で成長したことは何ですか」とお聞きしたいと思います。それがこの一年に子どもが学んだことです。きっとたくさんあると思います。ぜひ、ご家庭で子どもも交えて話していただければと思います。喜ぶと思います！

本年度も保護者の皆様、地域の皆様には幼稚園教育へご理解・ご協力をいただきましたことに感謝いたします。